

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第014号

令和3年7月9日(金)発行

7月もうすぐ半ば。梅雨明けが待ち遠しいですね。3年生は、受験モードに切り替えが完了しましたか? 「夏を征するものは、受験を征す」といいます。進路実現に向けてよい日々努力を連ねてください。1・2年生は、高校生活を充実できるように、新たなチャレンジに励んで下さい。

全校朝礼の表彰

なぎなた部 (インターハイ出場)

鹿児島県高等学校総合体育大会

第54回鹿児島県高等学校なぎなた競技大会
(全国・九州大会予選) 5/30(日)開催

試合競技の部

団体試合

団体優勝 川辺高校

個人試合

優勝 上牧 大佳 (川辺高校)

準優勝 國光 蓮 (川辺高校)

3位 迫 莉々樺 (川辺高校)

3位 田代 帆夏 (川辺高校)

演技競技の部

優勝 迫 莉々樺・上牧 大佳 (川辺)

準優勝 國光 蓮・蓮子 結夢 (川辺)

3位 神野 紗南・井料 千夏 (川辺)

3位 砂坂 春璃・田代 帆夏 (川辺)

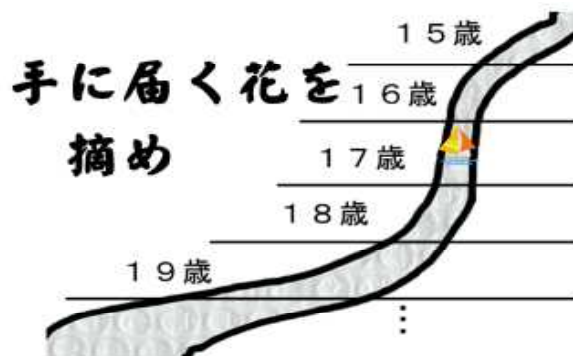


全校朝礼校長講話より

7月4日(月)

手に届く 花を摘め

*Pick up a flower your
hand can reach*



① タイミング

人生は、川を流れる小舟に例えられます。小舟は常に川の流れの中にあるので、岸边に咲いているきれいな花を摘もうとしても、そこを通るそのときにしか手が届かない。

手の届くときに摘まなければ、その花は永遠に去って行ってしまいます。

今、手に届く花を摘もう?

今だからできることを

今しかできないことをやろう。

② 頑張り

手に取りたい花ならば、手をしっかり伸ばして、摘んでみよう。

楽に手が届くものばかりでなくて、もう少しで届く、頑張れば届く。そんな目標を立てて、この手に摘んでみよう。

6月24日 生徒会長選挙

今回の選挙は、立候補者が8名になる、まれに見る大激戦となりました。当日開票が行われ、次の3名が選出されました。



生徒会長に金竹蓮音(きんたけれんと)さん(2-1)



副会長に上牧大佳(かみまきひろか)さん(2-1)と



副会長の八瀬尾雛乃(やせおひなの)さん(2-1)

7月20日の一学期終業式の日には、新しい生徒会執行部が決定し、生徒会任命式が行われ、生徒会執行部の新体制がスタートします。これからの活躍がとても楽しみです。

「自由」ってなに？

最近読んだ系井重里さんのエッセイより

じぶんから「私は、急性胆石性胆嚢(のう)炎になり、胆嚢の摘出手術を受けました。だから、私には胆嚢がありません。」と言うのはいい。だって、じぶんのことをカミングアウトしているのだから。(自己判断？ 自己責任?) でも、他人が「あの人は胆嚢がない」というのはよくない。

私は、容姿だとか、身体についてのことだとか、出自だとか、人種だとか、家族関係だとか、経済状況だとか、変わった癖だとか、一人だと思っていることだとか、これらのことなどは、自分で判断して、ここで言おうと決めて自分で言うのはいいと思っています。しかし、他人がそれらを知っていたとして、それを勝手に言うのはルール違反だと思います。重いこと、軽いこと、冗談になるようでならないこと、すべて、自分の言いたくないことは言わなくていいし、他人が言うのはいけないことだと思います。

よく、「自由」ということについて語られることがあります。「自由」の根幹には、自分のことについては、言うか？ 言わないか？ を自分で決められるということです。これが大事にされている世界は、おそらく住みやすいと思います。不要な詮索をしないとか、噂話を遠慮しようとか、そういうルールを作ればいいのかもしれませんが、もっと単純でいいと思っています。礼儀正しい人は、そういうことをしない。そして、そんな礼儀正しい人は、人から信頼される。だから、ルールで縛り付けるのではなく、礼儀正しく過ごせばいいだけなのです。

とにかく、いまの世の中は「言う」ばかりがもてはやされ過ぎています。いたるところで、「言わなきゃわからない」、「ちゃんと言え」と言われる始末。しかし、言うに至る前の気持ちや考えも大切だし、いまここで言うべきでない判断があってもいい。特に、自分のことについては、自分で決められるものであり、「悪いことじゃないから包み隠さず何でも言え」というのは、礼儀として間違っていると思います。事実だけれども他人に言う気になれないこと、ましてや、他人にそのことについて言われたくないことはあるものです。そのことをどうするか判断は、その人にとっての「自由」そのものだと思います。私は、礼儀正しく過ごしたいものです。